

砥山農業クラブ

砥山農業小学校通信

実りの秋真っ盛り とうきびおいしかったよ!

9月14日(日)の授業

時限	カリキュラム	会場
1	リンゴのシール貼り	西本果樹園
2	ブルーンの収穫	砥山ふれあい果樹園
3	トウキビと枝豆収穫	八剣山果樹園

収穫の秋です。果樹園ではリンゴやブルーンが色付いて来ました。

1時限目の授業はリンゴのシール貼りです。砥山ふれあい果樹園で桜井学

校長先生から「はがした後、見栄えのするように、絵や文字は太目に書きましょう」の注意を受けたあと、思い思いに絵や文



字をデザインしました。場所を西本果樹園に移して、5月から摘果(小さな実を詰むこと)などをして育ててきたリンゴの木にいよいよシール貼りです。リンゴはもう赤くなっていますが、デザインがよく映る様、西本先生が袋かけをしてくれていて、まだ青いものに貼り付けました。貼った後は、陽がよく当たるよう、リンゴの周辺の葉を1,2枚取って完了です。来月19日の農業小学校の最終日にはがしますが、どのように出来上がるか楽しみですねー。

2時限目は、砥山ふれあい果樹園に戻りブルーンの収穫です。瀬戸修一前校長から「お店で売っているものは完熟少し前のものを出しますが、ここで取れるものは完熟そのもの。手で触って少し柔らかくなっているものが食べ頃」とのお話を聞き、収穫開始。ブルーンにはいくつかの種類がありますが、今はシュガーブルーンというのが最盛期。口に含むとジューと甘さが広がります。充分食べて大満足です。



3時限目は、待望のトウキビと枝豆の収穫です。5月に植えたものが、背丈を超すほど大きくなっています。一株

に2個なっていますが「上の1番果(大きく、太ったもの)を取りましょう」とスタッフの合図で一斉に収穫開始。実の上の部分を触って、硬く詰まったものをもぎ取ります。あっという間に、トウキビを運ぶ台車が山盛りになりました。次は枝豆の収穫。枝豆は「大豆になる前のまだ若いもの」ということも授業で習いましたね。畑の周囲を取り囲むように並んで一斉に抜き取ります。根がしっかりと地中に入り込んでなかなか抜けませんが、「よいしょー」と引き抜きました。サヤを取って運びやすいようにします。箱ふたつにいっぱいになりました。



お昼は取れたばかりのトウキビと枝豆をスタッフが手際よく、茹でてくれたものを頂きました。まずはトウキビから。がぶりとかじりつくと、思わず「甘ーい」。皆んなの顔がほころぶ瞬間です。苦労して取ったかいがありましたねー。枝豆もゆでたては、ほのかな豆の味がして「これが枝豆なんだ」とお父さん、お母さんも満足そう。西本先生が自分のところ



で取れたモモをシロップ漬けにしてくれていて、これもおいしく頂きました。帰りには収穫したトウキビと枝豆をたくさん持って帰りました。

最後に桜井校長先生が取り付けを進めている「ソーラークッチャ」という太陽熱利用の調理器の説明を聞きました。中央の部分に反射した光が集中するようになっていて水を温めます。これで枝豆をゆでることができます。その傍らに太陽熱で温水を作る小屋も建設中で、もうしばらくで完成です。こうした自然エネルギーを利用することも大切なことですね。今日も、いろんなことが学べた1日でした。

発行: 砥山農業小学校(代表 桜井 学)

住所: 〒061-2275 札幌市南区砥山126番地 八剣山果樹園内

電話・FAX: 011-596-2280

e-mail: info-h@hakkenzan.jp <http://www.hakkenzan.com/nosyo/>

9月14日(日)のスナップ



リンゴシール作り



まず西本さんからリンゴとシールの説明



慎重にシールを貼りました



星に願い



取りました



自然に笑みがこぼれます



収穫したトウモロコシを集めます



初めての畑でトウキビ



皆で皮むき



さっそく試食



野外ではかぶりつきたくなります



皆で分けて持ち帰ります



枝豆の収穫



根元から引き抜きます



茹でた試食用枝豆

